

## 平成30年司法試験予備試験短答式試験一般教養科目第28問について

平成30年6月15日（金）

辰巳法律研究所

平成30年6月14日（木）に、法務省HPにて平成30年司法試験予備試験短答式試験の正解及び配点が発表されました。そこでは、一般教養科目第28問（太陽と地球に関する問題）は、「2」が正解とされており、辰巳法律研究所で再検討したところ、以下のように、同問の「肢イ」を正しいとする法務省発表の正解に疑義が生じました。

そこで、この疑義に関して、平成30年6月15日（金）午前中に、辰巳法律研究所で法務省司法試験予備試験係に電話にて問い合わせました。電話に出られた法務省の担当者に疑義内容を説明した上で、法務省としても検証するとの回答を得ました。また、その上で、辰巳法律研究所に検証結果を報告して下さるとのことです。辰巳法律研究所としては、法務省からの検証結果が報告され次第、辰巳法律研究所HP等で、受験生の皆様に速やかに報告する予定でございます。

### 【一般教養科目第28問に関する疑義】

本問肢イの記述と下記文献等とは、「ダルトン・ミニマム」の発生時期に約1世紀の違いが生じます。すなわち、肢イの文中、「小氷期には、…17世紀末～18世紀初頭にダルトン・ミニマムが、それぞれ認められているが、」と記載されていますが、下記の文献等によると、「ダルトン・ミニマム」は、18世紀末から19世紀初頭に起こったようです。

- (1) ウィキペディアの「ダルトン極小期」には、「ダルトン極小期(Dalton Minimum)は、1790年から1830年まで続いた、太陽活動が低かった期間である。」と記載されています。
- (2) 宮原ひろこ「マウンダー極小期」天気（日本気象学会）58巻1号P.81では、「西暦1800～1824年頃にも、黒点数が2つの活動周期にわたって少なくなっていた時期があり、ダルトン極小期と呼ばれている。」と記載されています。

### 【（ご参考）2018予備試験辰巳短答再現データ 一般教養科目第28問】

- ・集計人数 2092人
- ・問題の選択率 21.2%
- ・肢1を正解とした方 42.9%
- ・肢2を正解とした方 9.9%